

40th

ご自由にお持ち帰りください

蜂須賀病院機関誌

はちすが通信



目次

● 40周年記念を祝して…P.1-2

吉本 幸司 教授
森岡 隆人 理事長
田島 孝俊 先生
寺戸 一成 院長

● 蜂須賀病院の歩み……P.3-4

● 脳神経外科について……P.5

● 整形外科について……P.6

● 外来診療担当表 ……P.7



吉本 幸司教授

九州大学大学院医学研究院
脳神経外科 教授

蜂須賀病院開院40周年を祝して

この度は蜂須賀病院開院40周年、誠におめでとうございます。

蜂須賀病院を開院した初代理事長の蜂須賀庄次先生は、九州大学脳神経外科教室の大先輩であり、開設当初から九州大学脳神経外科教室の脳神経外科医が全力を挙げて蜂須賀病院を支援して参りました。私も若い頃から蜂須賀病院で外来や夜間の当直をこなし、蜂須賀先生と二代目理事長の江崎正孝先生からいろいろなご指導を直接受けてきました。蜂須賀先生が、50歳代の頃は、多くの患者の外来診察をこなしながら、手術にも対応していたのを覚えております。現在九州大学脳神経外科教室の責任者を努めておりますが、個人的に私の脳神経外科医としての歩みも、20年以上蜂須賀病院と共にあります。蜂須賀病院には、九州大学脳神経外科教室から脳神経外科専門医を常勤、非常勤として数多く派遣しておりますので、宗像・福津・遠賀地区における脳神経外科救急疾患に24時間365日いつでも対応できる体制にあります。脳神経外科専門医が毎日夜間当直をしている病院は福岡でもそれ程多くありません。九州大学脳神経外科教室として、今後も蜂須賀病院を全力で支援していきたいと考えています。



森岡 隆人理事長

医療法人 庄正会
蜂須賀病院 理事長

蜂須賀庄次先生との思い出

蜂須賀病院は、九州大学脳神経外科の大先輩である故蜂須賀庄次先生(1938-2011年)が、1983年に蜂須賀脳神経外科医院として開設されました。先生は、県立宮崎病院のご在任中に、今でこそ当たり前のように行われている破裂脳動脈瘤早期手術の我が国における先駆者のお一人です。当時の優秀な手術成績は、後に千代町で開業された藤原繁先生達と、開院と同じ1983年のActa Neurochir (68巻P227-37)に発表されています。

私は、開院間もない1985年からの4年間の大学院時代に、麻酔にお邪魔するようになったのが、先生との御縁の始まりです。当時の手術は、通常の診療が終了した夕方6-7時位からスタートしていましたので、帰宅するのは夜中過ぎになることもしばしばでしたが、先生の見事な手術を直接目で見て勉強できる貴重な経験でした。

その後も、当直や外来診療のお手伝いに、蜂須賀病院にお伺いするようになりましたし、1993年から2003年の間は、先生を会長とする「海の中道脳脊髄研究会」でもいろいろとご指導いただきました。この間に発行された8冊の会誌「Neuro AQUA」は、その後の私の臨床・研究生活の礎になっています。

40周年を迎えるこの蜂須賀病院で働けることのご縁を噛み締めながら、今後も蜂須賀先生のご遺志を引き継いで、地域の皆様のご要望にお応えできる病院を目指して頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



田島 孝俊 先生

医療法人 優なご会
雁の巣病院 医療部長

蜂須賀医院の思い出

私が初めて蜂須賀病院に勤務したのは、県立宮崎病院で研修医として蜂須賀先生にお世話になった御縁もあり、週末の当直でした。その頃は、当直中に急患が来ることは稀で、深夜、当直室に蜂須賀先生が来られることもあり、こんな時間まで働いていらっしゃるのかと、申し訳ない気がしたこともあります。その後は、浜の町病院勤務から5年目になった40才頃、再度、蜂須賀先生からお誘いを受けて蜂須賀病院に就職し12年勤務しました。整形外科病棟の増築が終わった頃で手術場が取り合いになるほど手術が盛んに行われていました。携帯電話も普及していない時代です。ある朝、いつものように近くのバス停から徒歩で出勤していると、3階の窓から大きな声で『田島先生、緊急手術です。早く来てください』と看護師さんから呼ばれ、あわてて階段を駆け上がった記憶もあります。既に当直医が手術の準備をして待っており、直ぐに手術開始。当時はなんでも蜂須賀病院に救急搬送という時代だったと思います。残念ながら救命できない方もおられましたが、蜂須賀先生の教えを守り、患者さんの生命を守るため自分なりに精一杯頑張ってきました。蜂須賀先生や江崎先生、先輩方の中には亡くなられた方も多くなり、寂しさも感じますが、今後、蜂須賀病院には10年、20年先も宗像の医療を守るために頑張りたいと思っています。これからの更なる発展を祈念いたします。



寺戸 一成 院長

医療法人 庄正会
蜂須賀病院 院長

江崎先生 地域医療への思い

当院の前病院長の江崎正孝先生は整形外科医として昭和58年の開院以来、脳神経外科医である蜂須賀庄次先生とともに蜂須賀病院の発展に尽力され、その後病院長および理事長を務められ、平成29年12月に72歳で逝去されました。

江崎先生は宗像という北九州市と福岡市の間位置する地にあって、都市部の大病院に負けない高いレベルの医療を地域の方々に提供したいとの強い思いを持っておられました。そのために日々自己の研鑽を怠ることなく、常に最新の医療知見や手術手技などの習得に努めておられました。専門の脊椎外科ではナビゲーションシステムなどの最新の設備を取り入れ、時に長時間に及ぶ高難度の手術にも取り組んでおられました。その評判は近隣に広まり、患者様は宗像地区に留まらず、現在も北九州や筑豊地区から受診されています。

また診療にあたっては患者様一人一人の苦痛や困難に寄り添う姿勢を常に持ち続けられ、それが他の職員にも浸透し、蜂須賀病院の基本理念となっていました。

江崎先生が亡くなられ早5年となりますが、残された職員一同、微力ながら江崎先生の遺志を引き継ぐべく研鑽を積んでいこうと日々決意を新たにしております。

40th 蜂須賀病院の歩み



初代理事長 蜂須賀庄次



2代目理事長 江崎正孝



病床数100床へ増床



開院当時の病院

昭和

1963年
・蜂須賀庄次が
脳神経外科医院を開院
・全国に先駆けて、
脳動脈瘤に対する
早期開頭手術行う。

1965年
自由ヶ丘開発

1971年
日の里団地開発

1981年
宗像市が誕生
宗像町が市制施行

1986年
・病床数31床へ

1987年
・江崎正孝が整形外科を
併設し、病床数100床
に増床

平成

1988年
宗像ユリックス完成

1990年
・0.3T永久磁石型
MRIシステム導入

1991年
トヨタ自動車九州設立

1992年
・医療法人設立



宗像ユリックス



現在の病院

令和

2022年
・森岡隆人、
4代目理事長就任
・訪問看護ステーション開設

2018年
・寺戸一成、
3代目理事長就任

2016年
・電子カルテシステム導入
・1.5T 超電導
MRIシステム導入

2015年
・病棟再編成。
3階病棟（急性期病棟）、
2階病棟（地域包括ケア病棟）
血管撮影装置更新

2014年

2009年
・江崎正孝、
2代目理事長就任

2001年
・新病棟完成

2020年
コロナパンデミック

2017年
宗像・沖ノ島と関連遺産群世界遺産登録

2008年
道の駅むなかた開業

2006年
鞍手郡若宮町・宮田町が新設合併、
宮若市となる

2003年
玄海町・宗像市と合併

2001年
日赤看護大学設立

2000年
グローバルアリーナ開場
サンリブくりえいと宗像オープン



グローバルアリーナ



道の駅むなかた



沖ノ島

脳神経外科

脳卒中は時間との戦い！
24時間脳神経外科医が対応します



脳血管疾患、頭部外傷などの急性期治療に3名の常勤医師と九州大学脳神経外科の非常勤医師が24時間体制で対応しています。当院は脳血管カテーテル治療の専門医が勤務しており外科的手術以外にも、緊急でクモ膜下出血に対し血管内コイル塞栓術、脳梗塞に対し血栓溶解療法、血栓をカテーテルで除去する血栓回収術などの治療に取り組んでいます。また、高齢者てんかんや治る可能性のある認知症と言われている正常圧水頭症の治療にも力を入れています。

主な対象疾患

- ・脳卒中（くも膜下出血・脳出血・脳梗塞）
- ・てんかん ・脳腫瘍 ・正常圧水頭症
- ・顔面麻痺 ・頭部外傷等

当院で受けられる検査

- ・CT ・MRI検査 ・血管造影検査
- ・脳波検査
- ・心エコー、頸部ドプラー検査

症 状

こんな時は要注意!!

これらの症状が出現した際には脳神経疾患が疑われます。



激しい頭痛



めまい



吐き気



ろれつが
まわらない



物を落とす



片目が見えづらい



片側の麻痺

症状があれば
すぐに受診を！
一時的に症状が
改善しても
受診して
下さい！



2022年度の新入院患者と手術の内訳 新入院患者 508名(91名に手術を行いました)

脳梗塞	血栓溶解療法	18件
	血栓回収術(カテーテル)	10件
くも膜下出血	脳動脈瘤クリッピング術	8件
	脳動脈瘤コイル塞栓術(カテーテル)	4件
	頸動脈ステント留置術(カテーテル)	2件

慢性硬膜下血腫	血腫穿孔洗浄術	29件
頭蓋内血腫	血腫除去術	11件
水頭症	シャント手術	5件
脳腫瘍	腫瘍摘出術	2件
その他	その他	20件

リハビリテーション

運動療法、嚥下訓練、高次脳機能訓練など、多職種と連携し早期からリハビリを開始します。当院からの自宅退院を目指し、安全に日常生活が送れるように、必要な方には家屋調査やカンファレンスを行っています。また、退院後訪問や訪問看護・訪問リハビリテーションなどの退院後のフォローも充実しています。

整形外科

早期手術、早期リハビリで
寝たきり予防



整形外科の幅広い領域に4名の常勤医師で対応しています。当院には常勤麻酔科医2名が勤務しており、骨折などの外傷に対して随時早期手術に対応し合併症の予防に努めています。

近年増加傾向にある大腿骨近位部骨折は、できるだけ翌日までの手術に取り組み、手術までの平均日数を3日間に短縮することができました。

外傷以外にも、人工関節(膝・股関節)や脊椎の手術(椎弓切除術・脊椎固定術等)も行っています。

主な対象疾患

- ・脊椎疾患(椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症など)
- ・肩疾患(肩腱板断裂、スポーツ肩、五十肩など)
- ・膝疾患(変形性膝関節症など)
- ・骨折(脊椎、四肢、骨盤、鎖骨、手指など)
- ・外反母趾・骨粗鬆症・リウマチ

症 状

これらの症状でお困りの方はご相談下さい。



首が痛い



骨折・捻挫



膝が痛い



腰が痛い



肩、背中が痛い

2022年度の新入院患者と手術の内訳
新入院患者 824名(643名に手術を行いました)

大 腿	骨折の手術	170 件
上 肢	骨折の手術	117 件
下 腿	骨折の手術	27 件
脊 椎	脊椎固定術	19 件
	椎弓形成術	18 件

肩	腱板断裂の手術	13 件
	その他	4 件
膝	人工関節置換術	42 件
	靱帯・半月板などの手術	45 件
その他	その他	188 件

リハビリテーション

当院では患者様の住み慣れた地域への生活復帰に向けて、術後翌日より機能訓練や、日常生活に必要な動作訓練などのリハビリテーションを行います。退院後も必要に応じて当院から訪問看護、訪問リハビリで在宅復帰支援をサポートしています。

医療法人 庄正会

蜂須賀病院

〒811-3423 宗像市野坂2650

TEL 0940-36-3636

外来診療担当表

	月		火		水		木		金		土
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前
脳神経外科	麦田	伊野波	森岡	森岡	森岡	前原	麦田	伊野波	伊野波 (物忘れ外来)	麦田	担当医
	辛島	辛島	伊野波	麦田	前原		秋山	秋山	三木	三木	
整形外科	和田山	和田山	担当医	担当医	森口	寺戸	園田	園田	白石	白石	播広谷
					津留崎		井原 (※1)				
	森口	寺戸	南部	村田	田川	南部	津留崎	森口	寺戸 (肩専門外来)	南部	担当医

脳神経外科

整形外科

24時間緊急指定病院

☐ 診察時間

午前／9:00～12:00

※ただし 受付時間は**11:30**までとなります

午後／14:00～17:00

※ただし 受付時間は**16:30**までとなります

(※1) 井原医師の診察は第2・4週の午前中のみです

☐ 待ち時間短縮の為、予約制を取り入れております。

電話予約(当日予約可)をお願いします。

☐ 緊急手術などで、診療日及び時間の変更がある場合があります。予めご了承ください。

HPはこちら

